



APOLITEC

アポリテックサビ止めエポ

2液速乾弱溶剤形変性エポキシ系サビ止め塗料

APOLITEC サビ止めエポは、変性エポキシ樹脂をベースにした、2液弱溶剤の変性エポキシ系サビ止め塗料です。優れた防錆力を持ち、幅広い下地に適応します。

主な特徴

- 1：速乾性で、温度条件などによりその日のうちに次工程が施工可能です。
- 2：亜鉛メッキ、アルミニウムやコンクリート、各種旧塗膜への付着性に優れています。
- 3：強溶剤のような強い臭気がありません。
- 4：トルエンや鉛などの有害物質を含まないため、人や環境に優しい設計です。
- 5：作業性に優れ、手離れが良い為、工期の短縮になります。

用途

一般建築物の鉄部・ステンレス・亜鉛メッキ等サビ止め塗料
新築・改修下地

適応する下地

鉄・アルミ・ブリキ・ステンレス・亜鉛メッキ（ガルバニウム鋼板、溶融亜鉛メッキ鋼板など）
コンクリート・押出成形版・旧塗膜など

荷姿 / 塗布面積

16kg セット（主材 14.4kg/ 硬化剤 1.6kg） / 95 ~ 114 m² / セット

色相

ブラウン・グレー・ホワイト・ブラック

塗 装 条 件

工法	素地 / 材料	塗回数	塗布量 (kg / m ²)	希 釈	塗装間隔 (20℃)	塗装用具
下地調整	コンクリート モルタル 押出成型板	エフロ・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去し、乾燥した清浄な面とする。(PH10以下、含水率8%以下)				
	亜鉛メッキ アルミニウム ステンレス	全面清掃。脱脂、目荒らしを行い、被塗布面を清浄にする。白さびなどはワイヤーブラシ・サンドペーパーなどで除去する。				
	一部鉄部 (塗替え)	錆や旧塗膜で剥がれ部分、膨れ部分などはワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて入念に除去する。活膜は目荒らしを行い、清浄な面とする。(3種ケレン) 素地露出部は補修塗を行う。				
下塗り	サビ止めエポ	1	0.14~0.17kg / m ²	塗料用シンナー A 0 ~ 5%	4 時間以上 7 日以内	刷毛・ローラー・ エアレスプレー

工法	素地 / 材料	塗回数	塗布量 (kg / m ²)	希 釈	塗装間隔 (20℃)	塗装用具
下地調整	一部鉄部 (新築)	劣化した黒皮やサビは、電動工具等で除去し、全面清掃、脱脂、目荒らしを行い、被塗布面を清浄にする。				
下塗り	サビ止めエポ	2	0.28~0.34kg / m ²	塗料用シンナー A 0 ~ 5%	4 時間以上 7 日以内	刷毛・ローラー・ エアレスプレー

※著しい発錆部やエッジ部には、サビ止めエポを増し塗りしてください。

※施工用具・条件・塗装間隔・所要量等は代表的なものです。施工条件により多少の幅を乗じることがあります。

使用上の注意

- 引火性の液体ですので換気を行い火気厳禁で塗装してください。
- 以下の場合は、塗装できませんのでご注意ください。
 - ・天候が悪い（降雨、降雪、強風）の場合。
 - ・湿度が85%以上ある場合。
 - ・気温が5℃以下の場合や、施工後数時間以内に5℃以下になる可能性がある場合。
- 下地調整は確実に行ってください。
- 希釈するとシンナーが浮いた状態になりますが、問題ありません。よく攪拌して均一な状態でご使用ください。
- 材料は0℃以下になる場所及び直射日光の当たる場所での保管は避けてください。使用後は密栓し、水やアルコール等の混入は避けて下さい。
- 塗り重ねは乾燥時間を厳守してください。乾燥が不十分な場合は上塗り塗装でにじむ場合があります。
- 色違い品による塗り重ねは避けてください。1回目の色がにじむ場合があります。
- 塗装終了後は直ちに器具等をシンナー洗浄して下さい。放置しますと硬化して洗浄することが難しくなります。
- 取扱いは、慎重に扱い、ラベルの注意事項に従って下さい。詳細についてはSDSをご参照ください。

安全衛生上の注意

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 使用前に取扱説明書を理解してお取扱いください。
- 粉塵 / ガス / 蒸気 / スプレーなどを吸入しないでください。
- 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
- 必要に応じて個人用保護具を使用してください。
- 飲み込んだ場合：気分が悪いときは、医師に連絡してください。口をすすいでください。
- 粉塵、蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診断を受けてください。
- 暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
- 緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
- 容器からこぼれたときには、砂などを散布した後処理してください。
- 施錠して子供の手の届かない場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないでください。
- 内容物 / 容器を破棄する時には、国や各自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。 ※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。 ◇詳細な内容、表示外の事項については、製品安全データシートをご参照ください。